

【施策評価調査】

施策名	3-2-2	環境学習の充実		98	「エコ・ハウスたかねざわ」での環境問題の啓発事業を通し住民が主体的に事業を展開することを図り、また、それをコーディネートする人材を育成する。将来的には住民による環境NPOを設立する。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部環境課	担当 リーダー	環境担当 金澤 公二		
環境変化	「マイ箸づくり」を新たな体験学習メニューに加え、この事業が好評だったため、参加者数が増加しました。				「エコ・ハウスたかねざわ」を環境学習やリサイクル活動の中心的施設と位置付け、住民に親しみやすい環境学習の機会を提供し、リサイクル活動の参加者拡大を図ります。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：環境学習・体験年間参加者数(人)	平成16年度実績	計画	1,200人	1,250人	1,300人	1,350人	1,400人
	1,161人	実績	1,111	1,122人	1,789人		
指標：人口1人・1日当り可燃ごみ排出量(g)	平成16年度実績	計画	285g	283g	281g	279g	277g
	285g	実績	318g	322g	327g		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,000,000	10,000,000	10,000,000		
	決算	10,000,000	10,000,000	10,100,365		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
エコ・ハウスたかねざわ運営管理費	当初 10,000,000	施設開館日数	A	「マイ箸」を作りリユース食器貸出し事業等積極的に新規事業に取り組むほか、既存の事業についても様々なPR活動を通じ、エコハウスの事業を周知でき利用者も年々増加しています。今後も継続し環境への関心を高める事業を展開していきます。			
	決算 10,289,365	303 / 306日		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	積極的なPRにより住民にエコ・ハウスの事業を周知できたことで利用者も年々増加し、環境への関心も高まってきました。今後も継続して事業を通して人材育成につなげていきたいと考えています。	引き続き積極的にPR活動を行い、更なる利用者の増加を目指します。
総合評価	<p>■ 総合評価 ■</p> 継続的に施策展開が行われていると評価する。後期計画策定に向け、エコ・ハウスを前面に押し出した施策展開をしてきた中で、これまでの取組みを検証し、町が行うことより、エコ・ハウスが行うことで、より成果が上がったり、効率が図られるような施策展開をするなど、エコ・ハウスの運営形態、あり方については常に検証すること。また、施策指標についても見直すこと。	